

(参考1) 照合データ インタフェース仕様

照合データ内容の詳細を以下に記載します。

※照合データの取消は取扱っておりません。

(1) 照合データ ファイル名

ファイル名：「5020XXXnn00」

XXXX：サービス種類（預金口座振替：9191 総合振込：9121 給与振込：9111 賞与振込：9112
地方税納入：9199）

nn：サイクルコード（通常'01'からスタートし、同日は毎回カウントアップ）

(2) 照合データ レコード長/レコード形式とレコード構成

ヘッダ	データ	……	データ	トレーラ	エンド
-----	-----	----	-----	------	-----

照合データ（取消）は、依頼データ1ファイルに対し、1ファイル作成してください。また、対応する依頼データの1サブファイルに対し、照合データのデータレコードを1件作成して下さい。

レコード長/レコード形式：120バイト固定長レコードとする。

(3) 照合データ レコードフォーマット

ヘッダレコード

項番	項目	形式/桁数	バイト長	内容
1	データ区分	N(1)	1	レコードの種類を表す。「1」：ヘッダレコード
2	種別コード	N(2)	2	預金口座振替：91 総合振込：21 地方税納入：99 給与振込：11 賞与振込：12
3	伝送日	N(8)	8	依頼データ伝送日を表す。YYYYMMDD（年-月-日）
4	伝送サイクルコード	N(2)	2	依頼データ伝送時のサイクルコードを表す。右詰め残り前「0」
5	照合識別コード	C(6)	6	照合者が正当であるかどうかを確認するためのコードを表す。
6	取消実施区分	C(1)	1	取消実施有無を設定する。「スペース」：照合実施「1」：取消実施
7	ダミー	C(100)	100	ダミーエリア（初期値）

(参考1) 照合データ インタフェース仕様

データレコード

項番	項目	形式/桁数	バイト長	内容
1	データ区分	N(1)	1	レコードの種類を表す。「2」：データレコード
2	引落日・納付期限日 振込指定日	N(4)	4	依頼データの引落日・納付期限日・振込指定日を表す。 MMDD (月-日)
3	委託者コード 会社コード 振込依頼人コード	N(10)	10	銀行が定めた委託者、振込依頼人、会社コードを表す。 右詰め残り前「0」
4	合計件数	N(6)	6	依頼データの合計件数を表す。右詰め残り前「0」
5	合計金額	N(12)	12	依頼データの合計金額を表す。右詰め残り前「0」
6	ダミー	C(87)	87	地方税納入の場合：依頼データのトレーレコードの合計件数② N(10) + ダミーエリアC(77)

トレーレコード

項番	項目	形式/桁数	バイト長	内容
1	データ区分	N(1)	1	レコードの種類を表す。「8」：トレーレコード
2	ダミー	C(119)	119	ダミーエリア (初期値)

エンドレコード

項番	項目	形式/桁数	バイト長	内容
1	データ区分	N(1)	1	レコードの種類を表す。「9」：エンドレコード
2	ダミー	C(119)	119	ダミーエリア (初期値)